

無痛分娩を希望する妊婦さんへ

陣痛の痛みから逃れたい。できれば楽なお産がしたい。それはあなたのバースプランでしょうか？本当にあなたが望むお産なのでしょうか？

医療現場では「患者の意思決定支援」という観点からあなたが選んだ医療をサポートするという考えがあります。これは、とても重要な事です。この考えに基づくと「インフォームドコンセント & インフォームドチョイス」が成立します。あなたが自分の赤ちゃんをお産する時に自分や胎児の健康状態をきちんと把握した上で、自分の意思として医療を選んでいるのでしょうか？

薬剤には必ず効果があり、そして副作用があります。無痛分娩には、本来は医学的適応があります。心疾患合併妊娠や妊娠高血圧症候群、重篤な状況を招くことが予測される母体合併症がある場合などです。健康な母児に対しての無痛分娩の医学的適応はありません。皆様は、痛いことと怖いことを混同してはいないでしょうか？

お産の時の陣痛の痛みは生理的な痛みであるため、乗り越えられる痛みなのですが、恐怖の感情が先行すると、痛みは増幅し、耐えられないと思ってしまうのでしょうか。

陣痛の痛みを和らげる助産師のケア技術に頼る考えを無くしてしまった女性たちが増えたことをとても残念に思います。また、助産師が女性たちに心底、寄り添っていない現状を猛省しないといけないのではないのでしょうか？

現在、多くの医療機関において、無痛分娩が普通に行われていますが、健康な母児の場合は、産婦さんの意思決定として、無痛分娩という方法を選択したという事になります。

つまりは、無痛分娩を選んだ責任は産婦さんご自身にあります。

ひと昔前は、お姫様が寝るようなベッドにフランス料理など、出産後のご褒美を受け取れる施設でのお産がファッションのように流行しました。健康な赤ちゃんであっても、お母さんから引き離され、母児分離となった結果、母乳が出ず、産後の体調不良で苦しむ女性に、助産師として多く会ってきたのも事実です。現在では、フランス料理が無痛分娩にとって変わったように見え、皆様には今一度、ご自分のお産について、真剣に考えて欲しいと思います。

無痛分娩は、麻酔を使用し麻酔科医師や産科医師の管理下での管理出産です。麻酔により、痛みは緩和されますが、児が娩出してくる感覚鈍麻のため、娩出力が弱くなり、会陰切開、吸引や鉗子などの更なる医療介入を余儀なくされます。赤ちゃんに、思いもよらぬストレスがかかった場合は、児心音の低下という事態もあり得るため、急変時は緊急帝王切開術へ分娩を切り替え、母児を救命するという事になります。また麻酔による副作用も実際には、数多く報告があがっています。また、無痛分娩は、陣痛促進剤を使用しますが、これは外因性オキシトシンであり、脳に侵入することが出来ないため脳に作用することはありません。一方で、自然な陣痛を発生させる内因性オキシトシンは、脳内で分泌され、かつ血液中よりはるかに高い濃度で脳に直接作用します。内因性オキシトシンが、母児の愛着を深める母性ホルモンの本体であることは良く知られていますが、外因性オキシトシンである陣痛促進剤にはその作用が無いのです。

無痛分娩に関しては、医師の管理下で薬剤を大量に投与して行う分娩方法であるという事を十分に知り、作用と副作用の両方の面をリサーチし理解した上で、分娩に関して、自己の意思決定をしたうえで、無痛分娩を選択してほしいと願います。

すべての分娩は、体験型学習です。しかもリスクが全くないと言えないのがお産です。

お産が終わり、こんなはずではなかったと後悔しても過去に戻ることは出来ません。

ですから分娩の方法や医療者の関わり方に疑問を持っている方は、納得がいくまで医師や助産師に質問をしてください。お産後から始まっていく育児上のトラブルも、実はお産の状況が関与している可能性は否定できないのです。

お産のことでお悩みの方は、ひとりで悩まずに、いつでも当法人の助産師にご相談ください。

人生のスタートであるお産、これからは、お産の質が問われるようになると思います。あなたの赤ちゃんの命が大切にされて、あなた自身も豊かに母へとシフトできるように皆様のお産が幸せなものでありますようにと心から願っております。

代表理事 澁谷貴子

無痛分娩のセミナーのアーカイブ視聴およびDVD 販売のご案内

【自然分娩と無痛分娩を正しく学ぶセミナー 動画視聴お申し込み】

<https://memid.online/srv/17194803331mCtX>

【自然分娩と無痛分娩を正しく学ぶセミナー】

DVD 購入 1 枚 6600 円 (送料別途)

ご購入希望の方は、HP のお問い合わせよりご連絡をお願い致します。